

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業 建設整備事業

事務事業の段階

計画  事業化  事業  管理

個18事07

政策名	4 環境にやさしい港	23年度事業・個別施策評価結果 (今後の取組みの方向性)			責任者	港営部 管財課長
基本施策名	06 秩序ある港湾環境づくり	事務事業	成果	コスト	連絡先 連携課	052-654-7876
個別施策名	18 港湾エリア(臨港地区、港湾区域)を適正に開発・利用する					
事務事業名	07 貸付地の管理	継続	維持	維持		
目的	貸付地を適正な状態で利用できるようにします。				事業 期間	昭和26年度～継続
概要	貸付地の適正管理のため巡視を行い、状況把握をします。あわせて、ゴミの不法投棄を防ぐため、必要に応じ防護柵等の予防設置を講じます。				根拠 法令等	
					実施 義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
24年度の実施予定	貸付地を適宜巡視し、良好な状態を維持します。				関連 シート	

2 DO(実施)

24年度に実施した 内容・結果	貸付地を適宜巡視し、良好な状態を維持しました。						
コスト(年度)	年度	20(実績)	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績見込)	備考(款項目節等)
事業費 計	千円	-	0	0	0	0	(款項目節)
一般会計	千円	-	0	0	0	0	(算出計算式) 10%/人×10人=1人
事業会計	千円	-	-	-	-	-	
その他	千円	-	-	-	-	-	
人員費 計	千円	-	8,582	8,481	8,620	8,716	(その他)
正規職員	人	-	1.00	1.00	1.00	1.00	
嘱託職員	人	-	0.00	0.00	0.00	0.00	
合計	千円	-	8,582	8,481	8,620	8,716	

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	20	21	22	23	24	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
巡視の回数(回)	目標	-	48	48	48	48		48	管理第一及び第二係が月2回実施しています。
	実績	-	48	48	48	48			
	達成率(単年度%)	-	100.0	100.0	100.0	100.0			
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-			
不法投棄の件数(件)	目標	-	10	10	10	10		-	貸付地にかかる不法投棄の件数をカウントします。
	実績	-	12	12	12	12			
	達成率(単年度%)	-	×	×	×	×			
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-			
必要性・有効性・効率性の確認		判断理由 (課題の抽出)						その他特記事項	
必要性	どうしても必要な事業か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						本組合にとって公有地の貸付料収入は貴重な自主財源であるとともに名古屋港において良好な港湾行政を運営していく上で、貸付地を適切な状態で利用できる状態しておくことは、利用者ニーズも踏まえても重要なことです。	
	利用者のニーズは高いか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □							
	本組合が関与する必要があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □							
有効性	目的や目標の水準は妥当か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						多忙な業務の中、月2回の巡視はコスト面からも必要最小限の回数であり、また、適正な港湾エリアの利用に寄与していると思われます。	
	目標を達成したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □							
	個別施策へ貢献したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □							
効率性	最小のコストで成果をあげているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						貸付業務と貸付地の管理は密接な関係にあり、必要最小限の範囲で巡視を行っています。	
	受益者に適正に負担させているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □							
	効率的な運営主体となっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □							

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による 今後の取組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	継続			港湾環境づくりにはゴミ処理は不可欠であり、引き続き成果を維持していく必要があるため。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取組み				
秩序ある港湾環境づくりに資するため、引き続き適宜巡視を行い、不法投棄物の発見を迅速にすることで管理地を良好な状態で維持します。				